

歳時記

イベントは

人もお金も招(まね)く

いよいよ暑さも増してきて、稼ぎ時の夏を迎えようとしています。

景気は不安定ですが、建設・土木並びに金融などはアベノミクスの恩恵を受けているようです。また海外からの旅行者(インバウンド)の増加により、ホテルや大都市の百貨店、家電量販店、デパート、スカウトストア(ドンキホーテ)、大型ドラッグストアなどの業績も好調です。それに比べ外食は、一部の地域を除いてインバウンドの影響もなく、ゴールデンウィーク以後いまひとつ精彩を欠いております。それゆえ賞与の時期を迎えるこれからに、大いに期待したいところです。

景気が上向いている業種(建築・土木及びホテルなど)は2020年開催のオリンピックの影響が強くなり、オリンピックまでのこの5年間で未曾有の建設ラッシュになるのは明らかです。

前回の東京オリンピックでは、オリンピックの開催にあたり新幹線、首都高速道路そしてホテルが足りないと言われ、国策としてホテルニューオータニなどが造られました。これと同じように多くのものがオリンピックに合わせて建設されること予想されます。またカラーテレビ(最初に見たときは驚きました)もこれを機に販売を伸ばしました。もちろん開催時には前回の何倍もの海外の方が日本を訪れるのは間違いありません。2020年の東京オリンピックでは日本に28〜36兆円規模の経済効果があると予想されています。(みずほ総合研究所)また千葉(幕張)でも3競技(柔道・テコンドー・フェンシング)の開催が決定しており、大きな効果が期待されます。

前回のオリンピックや大阪万博を企画された官僚の一人で、その後作家になられた堺屋太一さんは、『この二つの大イベントによって日本が先進国の仲間に入ることができた。』とおっしゃっています。

ここで私が言いたいのはオリンピックのことではありません。

人を集めるには イベントが一番

あなたのお店にはオリンピックや万博に代わるものがありますか? そんなに大それたイベントでなくてもいいのです。

百貨店では物産展(京都や北海道、イタリアやドイツなど)を多数催しています。また、江戸物産展などでは切り口を変え、職人による実演販売も行われています。

接客のクラブなどは周年祭や浴衣祭りなどでお客様に忘れられないよう努力しています。しかし、今の時代では船を使った花火大会や洋上のシャンパンパーティーなど、もつと工夫が必要な気もします。(普段と違うロケーション、服装だと、また違った魅力を引き出せるかもしれません)

居酒屋・レストランでは北海祭り、マグロ祭り、蟹祭りやハロウィンなどの行事を利用したお祭りを企画してみたいかがでしょうか。そしてその期間だけ、縁のある土地の地酒や焼酎(最近ではクラフトビールなんか面白いかもしれません)を料理と合わせて、提供するのです。

東京オリンピックによって初めて、あるいは久しぶりに訪日される外国人の方々が増え、世界中で東京、そして日本が話題になるでしょう。あなたのお店もイベントをやってお客様を呼び込んでください。

お客様は、胃袋とお金を持ってきてくださいます。

そして喜んでくれるとスタッフもお店も勢いづきます。面倒がらず、是非お試し下さい。街の話題になるかもしれません。

「ひまだよね!」と嘆くより イベントを!!

「祭りだ、祭りだ!」

けいきよくは 景気良くに!